

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (229), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, and 30.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for '現状どおり推進' and a row for '評価コメント'.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (232), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, (8) 施行事項 (費用), (9) 財源内訳, (10) 人件費等, (11) 単位費用.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1) 事業が今必要である理由, (2) 市が実施する必要性, (3) 参加・協働の工夫, (4) 環境への配慮, (5) 目標設定は適切か?, (6) 事業費削減の工夫, (7) 目標値を実現する為に.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (234), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main body table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and a multi-year budget table for 2016-2021.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks. Includes sections for necessity, citizen participation, environmental consideration, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns for current status (e.g., 現状どおり推進) and evaluation comments.

事務事業評価表(平成29年度)

Header table with columns: 事業コード (235), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要(PLAN)'. Includes sections for (1)事業概要, (2)目的, (3)事業内容, (4)達成目標, (7)事業実施上の課題と対応, and (8)施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 28, 29, 30, and 31.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sub-sections for (1)事業が今必要である理由・背景は?, (2)市が実施する必要性はあるか?, (3)市民の参加や市民との協働の工夫, (4)環境への配慮, (5)目標設定は適切か?, (6)事業費削減の工夫をして, (7)目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a row for 評価 and a row for 改善策及び展開方向.

事務事業評価表（平成29年度）

事業コード	1884	課コード	0404	会計種別	一般会計	予算の種類	政策	経常	なし
-------	------	------	------	------	------	-------	----	----	----

1. 事業の概要 (PLAN)									
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	農業にかかる放射能対策事業	実施計画への位置づけ	○有 ○無	②部課名	環境経済部・農政課		
	③事業主体	●市 ○その他 ()		④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐	■全市			
	⑤事業期間	平成24年度 ~		⑥担当職員数	4人 (換算人数)	0.34人			
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円	当該(開始)年度	(当初) 4,381千円 (うち人件費 2,992千円)	(変更後) 千円 (うち人件費 千円)			
	⑧施策の位置づけ	施策コード	12201	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無	部門別計画への位置づけ	(計画名)
(2) 目的	施策目的・展開方向	良好な生活環境を維持するため、定期的な環境調査や事業所などへの監視・指導を継続して行うとともに、路上喫煙、犬の糞害に対する指導、不法投棄と野焼きに対する監視や戸別指導を実施して、公害や生活環境の悪化を防止します。また、PM2.5や放射性物質などの新たな環境問題については、国、県、近隣自治体と連携して対応してまいります。			事業目的	福島第一原子力発電所事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市産農産物の放射性物質検査、農地の空間放射線量測定を行い、食の安全性の確保、風評被害の防止に努める。			
(3) 事業内容	内容	福島第一原子力発電所事故による放射能の影響を確認するため、我孫子市産農産物の放射性物質検査を行い、食の安全性の確保を行う。また、国から出荷制限の指示を受けている林産物（原木しいたけ）の制限解除に向けた取り組みや、出荷制限に限らず農業者の方々が受けた損害を請求するための支援として「東京電力による損害賠償に関する個別相談会」を開催し農業経営を支援を行います。			当該年度執行計画	4~5月 東京電力による損害賠償に関する個別相談会 4~3月 我孫子市産農産物・土壌等の放射性物質検査と農業者支援 5~6月 放射性物質分析機器移設			
		当該年度活動結果指標	我孫子市産農産物の放射性物質検査数	単位	件	想定値	300	実績値	
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値
当該(開始)年度	我孫子市産農産物の安全性の確認を行う。			直接	我孫子市産農産物の放射性物質検査数		件	300	200
3年後				直接			件	100	50
最終(概ね5年後)				-				0	0
(7) 事業実施上の課題と対応	放射能に不安を抱える消費者に対し、情報提供をしっかりと行い、我孫子市産農産物の安全性をPRしていく必要があることから、放射性物質検査を徹底して行いその結果を公表していくものとする。また、生産者にも必要な情報をしっかりと提供し、農業経営や損害賠償等に活用してもらう。			代替案検討	○有 ●無				
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
		内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)	内容	金額(千円)
		臨時職員雇用保険料	17	* 消耗品費	58	* 消耗品費	30	* 消耗品費	30
		臨時職員賃金	1,302	* 分析器保守点検費用	162	* 分析器保守点検費用	162	* 分析器保守点検費用	162
		* 消耗品費	58	* 臨時職員賃金	1,098	* 臨時職員賃金	1,098	* 臨時職員賃金	1,098
* 分析器保守点検費用	162	* 通信運搬費	71						
予算(済)額	合計	1,539	合計	1,389	合計	1,290	合計	1,290	
(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%
	県支出金	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%	補助率	0%
	起債	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%	充当率	0%
	一般財源	1,539	0	0	0	1,290	0	1,290	0
その他の財源	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 ■その他	1,389	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	
	正職員人件費	2,992	2,992	2,992	2,992	2,992	2,992	2,992	
	嘱託職員報酬額	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員賃金額	2,398	2,398	2,398	2,398	2,398	2,398	2,398		
事業費(予算(済)額+正職員人件費)	4,531	4,381	4,282	4,282	4,282	4,282	4,282		
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	15.1千円/件		14.6千円/件						

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	福島第一原子力発電所の事故により飛散した放射性物質の影響が懸念されている中で、市内で生産される農畜産物等への放射能の影響が、農業者及び消費者へ不安を与えている現状である。そのため、我孫子市産農産物、農地の空間放射線量等の放射能検査を実施し安全性の確認を行うことで農業者及び消費者の不安の解消を図る必要がある。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>				○要 ○不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) □法令等で市が実施することが定められている ■提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他 <その他の内容>		<市実施の具体的な内容・必要性の理由>	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容 (又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 <その他の内容> 簡易型放射性物質分析器による市内農産物の検査のため、市民の参加・協働はできない。						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		○要 ○不要
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 <その他の内容> 農産物等の放射性物質検査を行うことで、福島原子力発電所事故で飛散した放射性物質の農産物への影響の検査を実施する。						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった <想定どおりでなかった原因>		○要 ○不要
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a) (件)	目標値(b) (件)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	達成率(%)		○①目標値達成 ○②目標値未達成	
	300	200	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f) (件)	(b/f) × 100		<目標を達成した理由/未達成となった原因>	
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		事業費の削減対策について		○要 ○不要
	事業費(c) (千円)	事業費削減額(d) (千円)	□①国・県助成制度活用 ■②現行体制での対応 □③維持管理費の削減策の実施 □④民間委託	□⑤PFI等民間資本の活用 □⑥受益者負担 □⑦その他	実績値(g) (千円)	対事業費(%) (g/c) × 100		○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ○④事前の想定どおり ○⑤事前の想定どおりでなかった <想定どおり削減できなかった原因>	○要 ○不要
	事業費削減率(%)		<削減の内容>		<超過理由等>				
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>
	4.57	単位	費用単位	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費	実績値(h)	対目標値(%) (e/h) × 100			○要 ○不要

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成29年度）

Header table with columns: 事業コード (1572), 課コード (0404), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple sub-tables for performance metrics, cost efficiency, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for final assessment and improvement directions.